

平成22年度 第2回
徳島県後発医薬品適正使用協議会

日 時 平成23年2月3日（木）

午後1時30分から

場 所 ホテル千秋閣

6階 鷹の間

一 次 第 一

1 開 会

2 課長あいさつ

3 議 事

(1) 報告

- ・ジェネリック医薬品の使用促進に対する協会けんぽの
取組みについて
- ・徳島逡信病院の後発医薬品における現状と考察
- ・薬局への後発医薬品の使用状況に関する調査結果

(2) 議題

- ・後発医薬品セミナーの開催について
- ・後発医薬品の製剤工夫に関する調査について

(3) その他

4 閉 会

徳島逡信病院の後発医薬品に おける現状と考察

徳島逡信病院 薬剂部
渡邊 律子

H23.2.3(木) 徳島県後発医薬品適正使用協議会

アンケート調査の概要

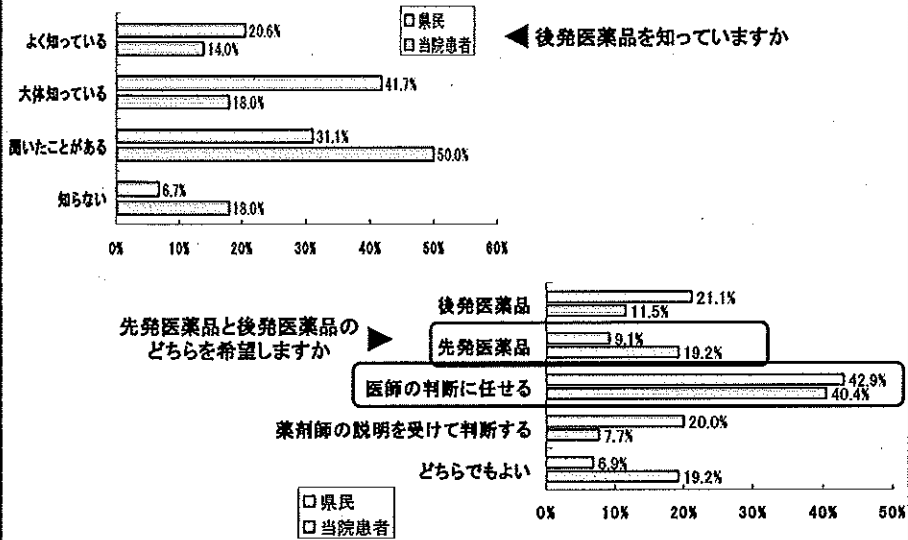
◆当院のアンケート調査

外来・入院の患者計50人を対象に県民へのアンケート調査と同様の内容について実施

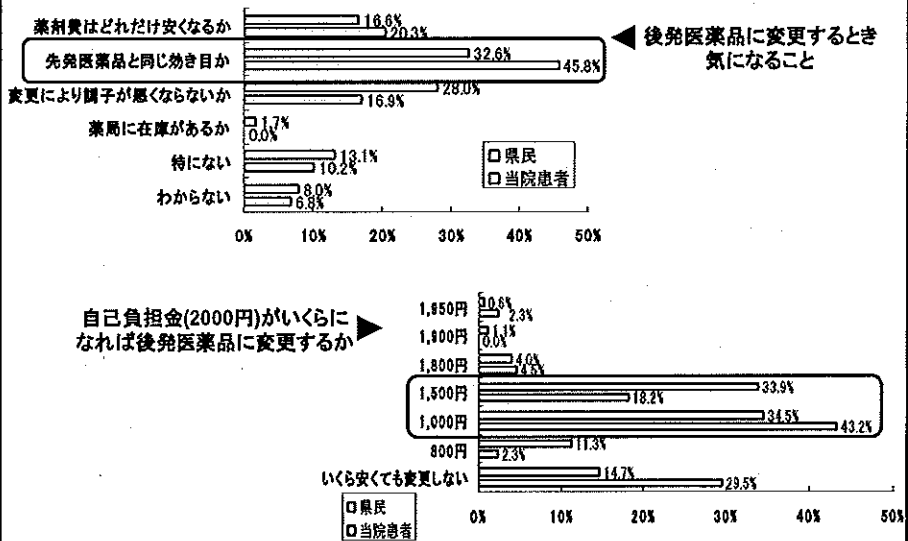
	20代	30代	40代	50代	60代	70代
県民(%)	4	22	24	22	18	9
当院患者(%)	0	2	8	20	28	42

※年代別調べ

アンケート調査における当院患者と県民との比較 ①



アンケート調査における当院患者と県民との比較 ②



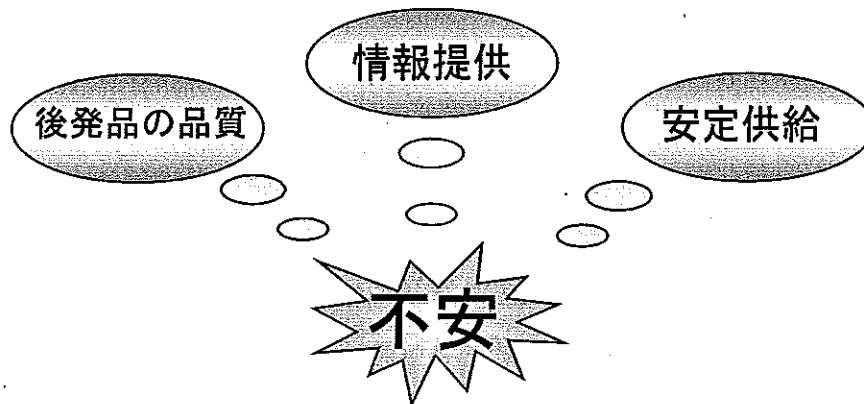
当院医師への後発医薬品に関する聞き取り調査

◆対象 医師 9名 内科 5名 外科 1名
整形 1名 眼科 1名
婦人科 1名(非常勤)

- ・後発医薬品を積極的に推奨する:1名(内科)
- ・患者の希望があれば処方する:5名(内科3・整形1・外科1)
医師からの要望:後発医薬品の品質に関しては
薬剤部で検討し情報提供をして欲しい
→変更不可処方せん
- ・効果を重視し後発医薬品かどうかにはこだわらない:1名(眼科)
- ・基本的に後発医薬品を処方するメリットはない:1名(内科)

薬剤師は後発医薬品とどう向き合うか

◆普及率の向上達成のためには
医療従事者または薬剤師のあり方が鍵



全国の病院にみる後発医薬品への積極的な取り組み

・聖マリアンナ医科大学病院

2010年4月現在 院内採用品目1731品目中

後発医薬品401品目

(内服薬223品目 外用薬47品目 注射薬131品目)

品目ベース 23.3%

・国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院

後発医薬品の検証を薬剤管理指導業務に導入

臨床効果・副作用などの確認を行ない

独自のEBMを作って評価し情報を提供

・東邦大学医療センター 大森病院

臨床的同等性(医師の不安材料)

↑
細かな文献検索
(海外論文を含む)

評価

←
TDM測定実施と分析

後発医薬品の情報提供

薬剤師

後発医薬品を正しく知る

情報提供

患者

情報提供

医師
医療従事者

患者ニーズに合わせた後発品の有効利用

病棟薬剤師の役割

病棟薬剤師 \times 病棟へ行って患者さんに服薬指導をする

さらに

- ・処方設計に参画する
- ・薬の効果や副作用を評価する
- ・病棟での情報提供

薬剤師の病棟での常駐



後発医薬品の普及にも貢献
※病院における病棟薬剤師の配置に
関する診療報酬上の対策

平成22年度 薬局への後発医薬品の使用状況に関する調査結果

発送数	200 施設
回収数	179 施設
回収率	89.5 %

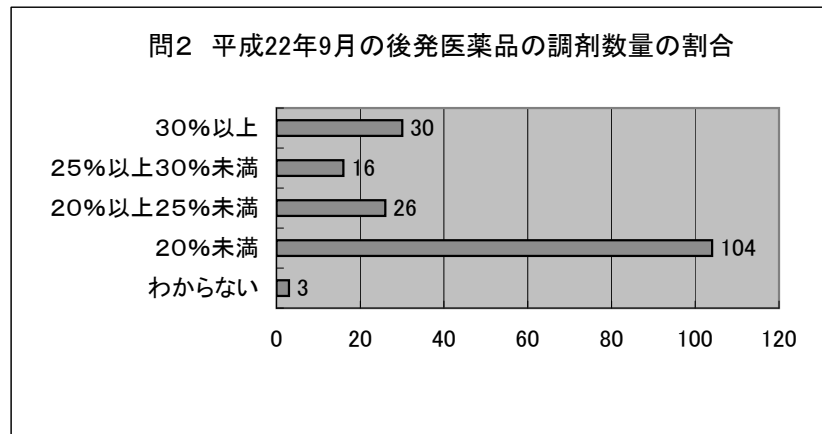
問1 平成22年9月の受付処方せん回数

①	すべての処方せん受付回数	167,451
②	全てあるいは一部の医薬品について後発医薬品への変更不可との医師の記載がある処方せん受付回数	32,891
③	そのうち、「後発医薬品へ全て変更不可」の処方せん受付回数	30,448
④	1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん受付回数(医師が後発医薬品を記載していた場合も含む)	68,165
⑤	そのうち、後発医薬品へ変更調剤した処方せん受付回数(含量違い、類似した別剤形への変更も含む)	7,181

		%
受付処方せん回数のうちすべて変更不可の割合	③/①	18.2
受付処方せん回数のうち一部変更不可の割合	②-③/①	1.5
変更可能な受付処方せん回数のうち後発医薬品へ変更して調剤した割合	⑤/①-③	5.2
受付処方せん回数のうち後発医薬品へ変更して調剤した割合	⑤/①	4.3
受付処方せん回数のうち後発医薬品を調剤した割合	④/①	40.7

問2 平成22年9月の後発医薬品の調剤数量の割合

	施設数	割合(%)
30%以上	30	16.8
25%以上30%未満	16	8.9
20%以上25%未満	26	14.5
20%未満	104	58.1
わからない	3	1.7
合計	179	100.0

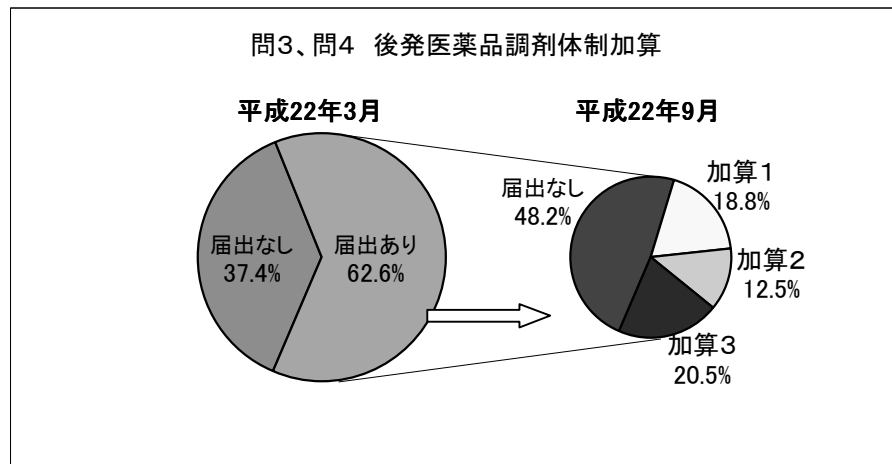


問3 平成22年3月まで後発医薬品調剤体制加算(4点)の届出を行っていたか。

	施設数	割合(%)
届出あり	112	62.6
届出なし	67	37.4
合計	179	100.0

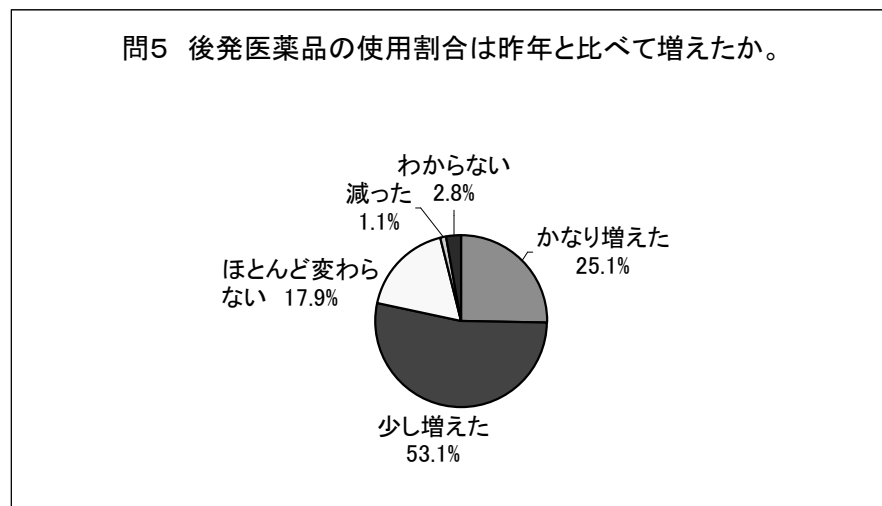
問4 問3で「届出あり」と答えた方で、平成22年9月時点で、後発医薬品調剤体制加算の届出を行っているか。

	施設数	割合(%)
加算1(数量割合20%以上)	21	18.8
加算2(数量割合25%以上)	14	12.5
加算3(数量割合30%以上)	23	20.5
届出はしていない	54	48.2
合計	112	100.0



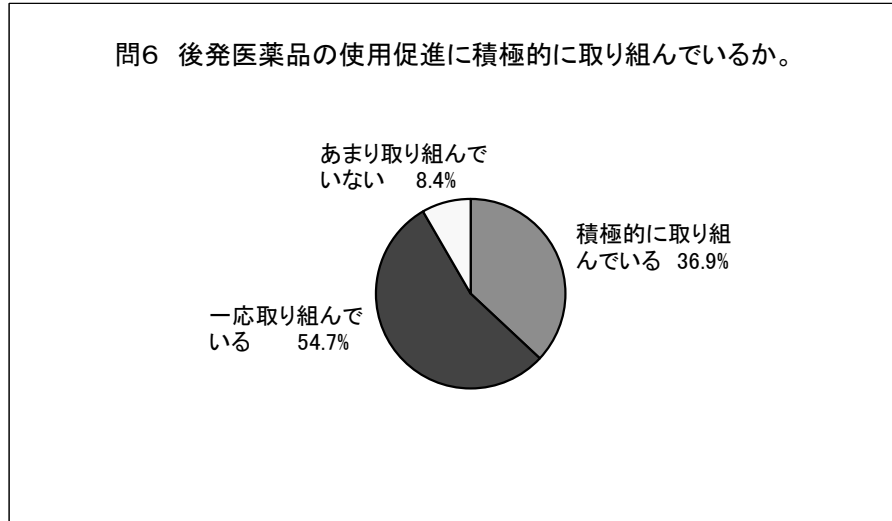
問5 後発医薬品の使用割合は、昨年と比べて増えたか。

	施設数	割合(%)
かなり増えた	45	25.1
少し増えた	95	53.1
ほとんど変わらない	32	17.9
減った	2	1.1
わからない	5	2.8
合計	179	100.0



問6 後発医薬品の使用促進に積極的に取り組んでいるか。

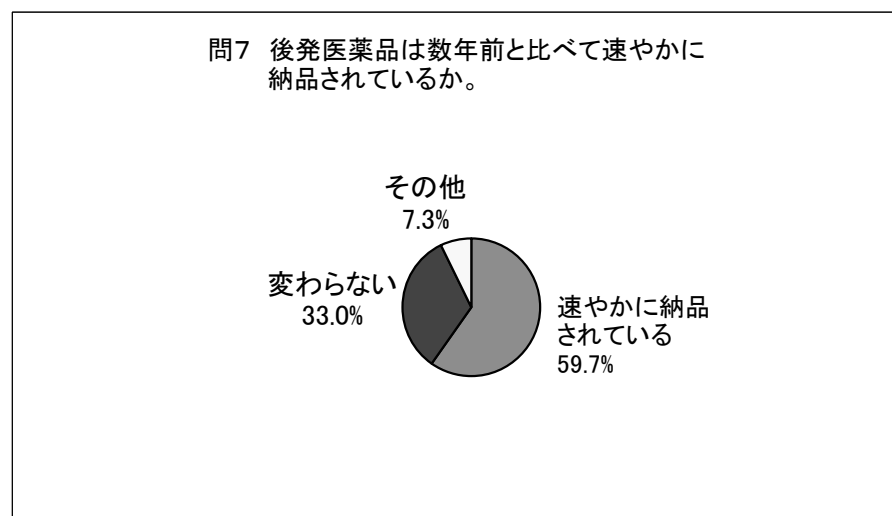
	施設数	割合(%)
積極的に取り組んでいる	66	36.9
一応取り組んでいる	98	54.7
あまり取り組んでいない	15	8.4
その他	0	0.0
合計	179	100.0



問7 発注した後発医薬品は数年前と比べて速やかに納品されているか。

	施設数	割合(%)
速やかに納品されている	107	59.7
変わらない	59	33.0
その他	13	7.3
合計	179	100.0

- ・メーカーによる。
- ・多くは翌日に納品されるが、商品により3～7日かかることもある。
- ・新規で発注した薬品の納入は遅い。
- ・少し早くなっている。
- ・品物によっては在庫不足で遅れる場合がある。

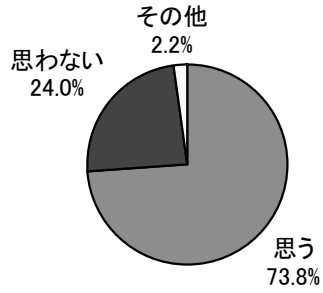


問8 後発医薬品に関する情報は、数年前と比べて得やすくなったと思うか。

	施設数	割合(%)
思う	132	73.8
思わない	43	24.0
その他	4	2.2
合計	179	100.0

・あまり変わらない。
・メーカーにより差がある。

問8 後発医薬品に関する情報は、数年前と比べて得やすくなったか。



後発医薬品の使用に関する調査用紙（2枚）

平成22年9月時点調査

薬局名
記入者氏名
電話番号
FAX 番号

問1 貴薬局で、平成22年9月に受け付けた処方せんについて記入してください。

内 容	処方せん回数
① すべての処方せん受付回数	
② <u>全てあるいは一部</u> の医薬品について後発医薬品への変更不可との医師の記載がある処方せん受付回数	
③ ②のうち、「後発医薬品へ <u>全て</u> 変更不可」の処方せん受付回数	
④ 1品目でも後発医薬品を調剤した処方せん受付回数 (医師が後発医薬品を記載していた場合も含む。)	
⑤ ④のうち、後発医薬品へ 変更調剤 した処方せん受付回数 (含量違い、類似した別剤形への変更も含む)	

問2 貴薬局における、平成22年9月の後発医薬品の調剤**数量**の割合は何%でしたか。

- 1 () %
- 2 わからない

問3 平成22年3月まで後発医薬品調剤体制加算（**4点**）の届出を行っていましたか。

- 1 はい
- 2 いいえ

問4 問3で「はい」と答えた方にお聞きします。

後発医薬品調剤体制加算の基準が改正されましたが、平成22年9月時点で後発医薬品調剤体制加算の届出を行っていますか。

- 1 後発医薬品調剤体制加算**1** (数量割合20%以上)を届出ている。
- 2 後発医薬品調剤体制加算**2** (数量割合25%以上)を届出ている。
- 3 後発医薬品調剤体制加算**3** (数量割合30%以上)を届出ている。
- 4 届出はしていない

問5 貴薬局での後発医薬品の使用割合は、昨年と比べて増えましたか。

- 1 かなり増えた
- 2 少し増えた
- 3 ほとんど変わらない
- 4 減った
- 5 わからない

問6 貴薬局では後発医薬品の使用促進に積極的に取り組んでいますか。

- 1 積極的に取り組んでいる
- 2 一応取り組んでいる
- 3 あまり取り組んでいない
- 4 その他 ()

問7 発注した後発医薬品は、数年前と比べて速やかに納品されていますか。

- 1 速やかに納品されている
- 2 変わらない
- 3 その他 ()

問8 後発医薬品に関する情報は、数年前と比べて得やすくなったと思いますか。

- 1 思う
- 2 思わない
- 3 その他 ()

御協力ありがとうございました。

後発医薬品セミナーの開催について

1 目的

平成21年度に、後発医薬品の使用状況に関する現状把握のため、県内医療機関、薬局及び県民へのアンケート調査を実施した。

その調査結果から、やはり多くの医療関係者は、後発医薬品の品質、供給体制、情報提供が十分でないと感じており、後発医薬品に対する信頼性が低いということが明らかとなった。

そこで、後発医薬品の品質の現状について理解を深めていただくため、医療関係者を対象とした講演会(後発医薬品セミナー)を開催する。

2 後発医薬品セミナー

◇ 日 時	平成23年3月17日(木) 午後7時から午後8時30分まで
◇ 会 場	徳島東急イン 6階 阿波 (徳島市元町1-24 電話 088-626-0109)
◇ 講 師	国立医薬品食品衛生研究所薬品部 第一室長 四方田 千佳子(よもた ちかこ)氏
◇ 演 題	「後発医薬品の品質を巡る動き」
◇ 対象者	医療関係者等 (医師、歯科医師、薬剤師、製薬企業関係者、薬学生)
◇ 定 員	約150人
◇ 申し込み方法	メール、ファクシミリによる事前申し込み

講師紹介

四方田 千佳子 氏

京都大学大学院薬学研究科修士課程修了後、国立衛生研究所(現国立医薬品食品衛生研究所)に入所され、薬品試験部第一室長、食品添加物第一室長を経て、現在、薬品部第一室長

(後発医薬品関係) ジェネリック医薬品品質情報検討会(技術関係の事務局)
後発医薬品等の同等性ガイドライン検討委員会
日本ジェネリック医薬品学会理事

3 その他

(1) 本セミナーは、同日に開催する徳島県薬剤師会会員向け認定研修会のなかの第一部として開催する。

(2) ちらし配布先

徳島県薬剤師会会員、徳島県病院薬剤師会研修会会場
徳島県医師会会員、徳島県歯科医師会会員 など

後発医薬品セミナー

参加費
無料

医療関係者の皆さまに後発医薬品を使用していただくためには、後発医薬品の品質、先発医薬品との同等性についてより深く理解していただき、後発医薬品への信頼性を高めることが必要であると思われます。

この度、国立医薬品食品衛生研究所から 四方田 千佳子氏 を講師にお迎えし、科学的なデータに基づく後発医薬品の品質等についてお話をいただきます。

日時

平成23年3月17日(木)
午後7時～8時30分

場所

徳島東急イン 6階 阿波
徳島市元町1丁目24番地 電話:088-626-0109

演題

「後発医薬品の品質を巡る動き」

講師

よもたちかこ
四方田 千佳子氏
(国立医薬品食品衛生研究所薬品部第一室長)



対象者：医療関係者等

定員：約150名(申し込み先着順)

主催：徳島県・徳島県後発医薬品適正使用協議会・徳島県薬剤師会



申込方法

裏面の参加申込書にご記入の上、平成23年3月15日(火)までにFAXまたはメールにてお申込みください。

四方田 千佳子 氏

京都大学大学院薬学研究科修士課程修了後、国立衛生研究所（現国立医薬品食品衛生研究所）に入所され、薬品試験部第一室長、食品添加物第一室長を経て、現在、国立医薬品食品衛生研究所薬品部第一室長。

ジェネリック医薬品品質情報検討会、後発医薬品等の同等性ガイドライン検討委員会、日本ジェネリック医薬品学会理事。

● 問い合わせ・申し込み先 ●

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
 徳島県保健福祉部薬務課 薬事審査・血液担当(奈須)
 電話:088-621-2234 FAX:088-621-2842
 E-mail:yakumuka@pref.tokushima.lg.jp

↑
エル

後発医薬品セミナー「後発医薬品の品質を巡る動き」

参加申込書

徳島県保健福祉部薬務課 薬事審査・血液担当 行
 FAX:088-621-2842

次のとおり、セミナーへの参加を申し込みます。

	参加者氏名	
1		勤務先 電話 職 種: 医師・歯科医師・薬剤師・()
2		勤務先 電話 職 種: 医師・歯科医師・薬剤師・()
3		勤務先 電話 職 種: 医師・歯科医師・薬剤師・()
4		勤務先 電話 職 種: 医師・歯科医師・薬剤師・()

後発医薬品セミナー アンケート (案)

アンケートに御協力ください。該当するものに○をつけてください。

年齢： ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代以上

性別： ・ 男 ・ 女

職業： ・ 医師 ・ 歯科医師 ・ 薬剤師 ・ 薬学生： 学年()年生
・ その他 ()

問1 後発医薬品についての講演会に参加したのは初めてですか。

- ・ はい
- ・ いいえ → これまでに () 回くらい参加したことがある。

問2 この講演を聴く前、後発医薬品の品質についてどのように感じていましたか。

- ・ 信頼できない
- ・ 信頼できる
- ・ 特にない

問3 問2で「信頼できない」と答えた方におききます。
講演を聴いて、後発医薬品の品質についての信頼性は高くなりましたか。

- ・ 信頼できるようになった。
- ・ 少し信頼できるようになった
- ・ 変わらない
- ・ ますます信頼できなくなった

問4 今後もこのような後発医薬品に関する講演会があれば参加したいと思いますか。

- ・ 思う
- ・ 思わない
- ・ わからない

問5 今後、後発医薬品に関するどのような内容の講演会を開催して欲しいですか。
(複数回答可)

- ・ 後発医薬品の品質に関するさらに詳しい内容について
- ・ 後発医薬品の使用に取り組んでいる医師の話
- ・ // 薬剤師 (病院) の話
- ・ // 薬剤師 (薬局) の話
- ・ 後発医薬品メーカーの取り組みについて
- ・ 保険者の取り組みについて
- ・ 国及び県の取り組みについて
- ・ その他 ()

問6 この講演会についての感想、御意見等をご自由にお書きください。

[]

ありがとうございました。